

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	JASS10 改定小委員会	主 査 名：梶田 佳寛 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)	委員長名：梶田 佳寛 主 査 名：阿部 道彦
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>(設置目的) JASS10 は、1965 年に制定されて以来、1972 年、1978 年、1991 年および 2003 年とおおよそ 10 年おきに改定せれてきた。プレキャスト鉄筋コンクリート工事に関しては、2003 年の改定のあと、さらに高強度化が進み、技術の現状に対応するため改定小委員会を設置して 2012 年度を目途に改定作業を行う。</p> <p>(各年度活動計画) 2009 年度～2012 年度にかけて、2003 年版 JASS10 の問題点の抽出、プレキャスト鉄筋コンクリート工事に関する研究・技術開発の動向を調査し、法令・基準との整合を図り、本文・解説案を検討し、2012 年度中に完成させる。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>梶田佳寛 (宇都宮大学)、鹿毛忠嗣 (建築研究所)、杉山央 (建築研究所)、早川光敬 (東京工芸大学)、飯塚正義 (プレハブ建築協会)、石川伸介 (安藤建設)、遠藤寛 (鴻池組)、川村敏規 (三井プレコン)、河村光昭 (清水建設)、橋高義典 (首都大学東京)、木村匡 (UR 機構)、小島正明 (竹中工務店)、佐藤幸恵 (東京大学)、陣内浩 (大成建設)、中澤春生 (清水建設)、中田善久 (日本大学)：WG の委員を含む</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>品質・調合 WG：プレキャストコンクリートの要求品質・調合・製造法について専門委員を集めて検討する。</p> <p>組立・接合 WG：プレキャスト鉄筋コンクリート部材の現場における組立ておよび接合法について、専門委員を集めて検討する。</p> <p>一般事項 WG：プレキャスト鉄筋コンクリート造における構造体の要求性能、耐久設計基準強度について、専門委員を集めて検討する。</p>	
2011 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	大会 (関東) PD 「プレキャストコンクリート工法に関する課題と展望」 実施・資料作成
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>2009 年から開始し、各 WG における改定作業をほぼ終了し、現在は全体調整中であり、2012 年度の前半で改定作業を終了する予定である。</p> <p>コンクリートは建築基準法で指定建築材料になっているが、プレキャストコンクリートは製品であり、指定建築材料に位置づけられていない。そのため、その製造管理、品質管理、工事管理の拠り所として JASS10 は期待されている。</p>
委員会活動の問題点・課題	プレキャストコンクリート工事の実務に精通した学識経験者が少ない。